

☆RIM ASIA PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No. 6573 November 01, 2013

Copyright (c) 2013 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

—Tokyo, 20:00 JST 01 Nov2013

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

#### ◎編集部からのお知らせ

##### ○リム主催セミナー:インドで11月22日開催「シェール革命によるインド市場への影響」

リム情報開発は米国に端を発した「シェールガス革命」がインドの石油製品、天然ガス、LNGや川下製品の相場や需給に及ぼす影響に関し討論する場を提供し、11月22日にインド、ニューデリーにてセミナーを開催します。参加費は400ドル（宿泊費除く）。

【本件に関するお問い合わせ先】

リム情報開発株式会社 海外事業部

電話：03-3552-2411 E-mail: [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

##### ○【リムエネルギー総合指数22種（レックス22）公表のお知らせ】

リム情報開発株式会社は10月15日、「リムエネルギー総合指数22種（レックス22）」の公表を開始しました。これは、物価や景気動向に大きな影響を与えるエネルギー商品に着目した指数です。当社が日々アセスメントしている石油製品・LPG・LNG・石油化学製品など、エネルギー市場の価格を総合的に表すものです。同指数は「石油製品やLPGなどの国内企業間取引価格」、「石油製品、ベンゼン、LPG、LNG等の日本着の輸入価格」、「ベンゼン、石油製品などの日本積み輸出価格」で構成。日銀発表の企業物価指数、内閣府発表の景気動向指数とも相関関係が非常に高くなっています。「レックス22」は当社ホームページ上で公表します。前営業日分は当社休業日を除く翌日正午、月間平均値については翌月第5営業日までに更新または公表します。問い合わせは、当社営業企画班(電話：03-3552-2411 E-mail: [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp))へ。

##### ○子会社設立に関するお知らせ

リム情報開発株式会社は9月26日、当社100%出資子会社「リム イノベーション&ソリューションズ株式会社」(Rim Innovation & Solutions Company = RISCO)を設立いたしました。同社はリム情報開発の販売代理店として、リムレポートの販売代行のほか、石油などエネルギー市場に関する各種セミナーの開催、データ作成、市場分析などの依頼に応えます。また、顧客のニーズに応じ、リムの各レポートをベースにしたカスタマイズレポートの発行も手がけます。

【リムレポートサンプル】 ※レポート名をクリックすると、各レポートの見本にジャンプします。

サンプルは本日付けではございません。あらかじめご了承ください。

[原油・コンデンセート](#) [LNG](#) [アジア石油製品](#) [ジャパン石油製品](#) [ローリーラック](#)

[石油化学](#) [RIM Data File](#) [石油化学データ](#) [中国語版ウェブサイト](#) [LPG](#) [電力](#)

**◎FOB SINGAPORE CARGOES (FO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

	-Physical-	-Premium-
Mogas 97RON	+ 115.70-115.80 +	12.50/ 12.60*
95RON	+ 114.70-114.80 +	11.50/ 11.60*
92RON	+ 111.20-111.30 +	8.00/ 8.10*
Naphtha	+ 103.90-104.00 +	0.70/ 0.80
Jet/Kerosene	+ 124.50-124.60 +	0.70/ 0.80
Gasoil 0.001%S	+ 126.70-126.80 +	2.70/ 2.80
Gasoil 0.05%S	+ 124.60-124.70 +	0.60/ 0.70
Gasoil 0.5%S	+ 123.90-124.00 +	-0.10/ 0.00
FO 180cst 3.5%S	- 618.00-619.00 -	3.00/ 4.00
FO 380cst 3.5%S	- 611.50-612.50 -	5.50/ 6.50

**◎SINGAPORE PAPER SWAPS (FO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

	Nov	Dec	Jan
Naphtha	+ 103.15-103.25 +	- 102.25-102.35 -	- 101.60-101.70 -
Jet	+ 123.75-123.85 +	+ 123.15-123.25 +	+ 122.70-122.80 +
Regrade	- -0.25/ -0.15 -	- 0.25/ 0.35 -	- 0.30/ 0.40 -
Gasoil 0.05%S	+ 123.95-124.05 +	+ 122.85-122.95 +	+ 122.35-122.45 +
FO 180cst 3.5%S	- 614.75-615.25 -	- 607.75-608.25 -	- 604.75-605.25 -
FO 380cst 3.5%S	- 605.75-606.25 -	- 599.75-600.25 -	- 596.75-597.25 -

**◎SINGAPORE CRACK MARGINS (Against Dubai Crude Oil, in \$/bbl)**

	Nov	Dec	Jan
Naphtha	-3.74	-3.04	-2.86
Jet	16.86	17.86	18.24
Gasoil	17.06	17.56	17.89
FO 180cst	-12.32	-11.80	-11.43
FO 380cst	-13.71	-13.03	-12.66

**◎FOB SOUTH KOREA CARGOES (FO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

	MR Cargoes	-Premium-
Mogas 92RON	+ 110.65- 110.95 +	-0.60/ -0.30*
Jet/Kerosene	+ 124.00- 124.10 +	0.20/ 0.30
Gasoil 0.001%S	+ 125.15- 125.25 +	1.15/ 1.25
Gasoil 0.05%S	+ 123.75- 123.85 +	-0.25/ -0.15
Gasoil 0.2%S	+ 123.05- 123.15 +	-0.95/ -0.85
Gasoil 0.5%S	+ 121.70- 121.80 +	-2.30/ -2.20
FO 380cst 3.5%S	- 606.00- 607.00 -	0.00/ 1.00
LSFO 0.3%S	- 710.00- 720.00 -	95.00/105.00***

	SR Cargoes	-Premium-	CFR Japan Parity#
Mogas 91RON	+ 112.75- 113.25 +	1.50/ 2.00*	75,813
Kerosene	+ 124.80- 125.30 +	1.00/ 1.50	82,747
Gasoil 0.001%S	+ 125.65- 125.75 +	1.65/ 1.75	83,556
AFO	+ 123.10- 123.30 +	-0.90/ -0.70**	78,956
LSAFO	+ 123.70- 123.90 +	-0.30/ -0.10**	79,330
LSFO 0.3%S	- 720.00- 730.00 -	105.00/115.00***	

\*Premium to FOB Singapore Mogas 92RON

\*\*Premium to FOB Singapore Gasoil 0.05%S

\*\*\*Premium in density at 0.95

# in Yen/kl, Basis Nagoya

**SR Clean Tanker Freight Rates (\$/bbl)**



Korea to Tomakomai	3.80-4.00	Korea to Keihin	3.50- 3.70
Korea to Nagoya	3.20-3.40	Korea to Kanmon	2.80- 3.00

**◎FOB TAIWAN CARGOES (in \$/bbl)**

	MR Cargoes		-Premium-
Jet/Kerosene	+ 124.30- 124.40 +		0.50/ 0.60
Gasoil 0.001%S	+ 125.55- 125.65 +		1.55/ 1.65
Gasoil 0.05%S	+ 124.10- 124.20 +		0.10/ 0.20
Gasoil 0.2%S	+ 123.35- 123.45 +		-0.65/ -0.55
Gasoil 0.5%S	+ 122.00- 122.10 +		-2.00/ -1.90

**◎CFR CHINA CARGOES**

(FO in \$/mt, Others in \$/bbl) (Yuan/mt) (Yuan/mt)

		-Premium-	-Import Cost-	-Domestic-
<b>NORTH CHINA</b>				
FO M100(RUSSIA)	- 710.00-711.00 -	95.00/96.00	6,110	6,050-6,100

**EAST CHINA**

Mogas 93RON***	+ 112.95-113.05 +	1.70/ 1.80	8,599	8,800-8,850
Gasoil 0.05%S*	+ 126.05-126.15 +	2.05/ 2.15	7,901	7,700-7,750

**SOUTH CHINA**

Mogas 93RON***	+ 113.35-113.45 +	2.10/ 2.20	8,624	8,700-8,750
Gasoil 0.05%S*	+ 126.45-126.55 +	2.45/ 2.55	7,922	7,820-7,870
FO 380cst 3.5%S**	- 616.00-617.00 -	10.00/11.00	5,427	4,400-4,450

--Exchange rate (MIDDLE Yuan/\$ as of Nov 01) 6.1452

\*Yuan/mt prices for Gasoil include 0% duty, 17% value added tax and Yuan 940.8/mt consumption tax.

\*\*Yuan/mt prices for FO include 1% duty, 17% value added tax and Yuan 812/mt consumption tax.

# China gasoil Domestic prices are of 0.035%S grade.

## China FO Domestic prices are of bunker use grade.

**◎FOB ARABIAN GULF CARGOES (Naphtha and HSFO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

			-Premium-
Naphtha	+ 925.75- 926.25 +		27.00/ 32.00
Kerosene	+ 121.50- 121.60 +		1.70/ 1.90
Gasoil 0.05%S	+ 120.90- 121.00 +		2.30/ 2.50
FO 180cst 3.5%S	- 607.50- 608.50 -		

**◎FOB INDONESIA MIXED/CRACKED LSWR CARGOES (in \$/bbl)**

	-Physical-	-Premium-
LSWR 0.35%S	-100.75-100.85 -	0.00/ 1.00*
Expected PPF	-100.25-100.35 -	

\*Premium to Pertamina Pricing Formula

**◎CFR JAPAN MR CARGOES (Naphtha and HSFO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

		-Yen/kl-	-Premium-
Naphtha	+ 939.00- 948.25 +	65,545	15.25/ 16.25
Dec 2nd-half	+ 955.25- 955.75 +		
Jan 1st-half	+ 947.75- 948.25 +		
Jan 2nd-half	+ 939.00- 939.50 +		
Jet/Kerosene	+ 126.10- 126.30 +	78,769	2.30/ 2.50
Gasoil 0.001%S	+ 127.45- 127.55 +	79,580	3.45/ 3.55
LSWR 0.2%S	- 104.50- 104.60 -	65,256	3.75/ 4.75*
FO 380cst 3.5%S	- 618.00- 619.00 -	58,919	12.00/ 13.00

LSF0 0.3%S - 745.00- 755.00 - 71,446 130.00/140.00\*\*

--Exchange rate (TTS Yen/\$ as of Nov 01) 99.23

\*Premium to Pertamina Pricing Formula

\*\*Premium in density at 0.95

**◎FOB JAPAN MR CARGOES (HSFO in \$/mt, Others in \$/bbl)**

			-Yen/kl-*	-Premium-
Jet/Kerosene	+ 124.00-124.10 +		76,646	0.20/ 0.30
Gasoil CARB DIESEL	+ 125.45-125.55 +		77,542	1.45/ 1.55
Gasoil 0.001%S	+ 125.15-125.25 +		77,357	1.15/ 1.25
FO 380cst 3.5%S	- 601.00-604.00 -		57,704	-5.00/ -2.00

--Exchange rate (TTM Yen/\$ as of Nov 01) 98.23

\*Yen/kl prices exclude Yen 2,290/kl refund.

**◎ASIA BUNKER PRICES (\$/mt)**

	180cst	280cst	380cst	MDO
Japan*				
Tokyo Bay*	646.00-649.00	644.00-647.00	637.00-640.00	935.00- 945.00
West Japan*	650.00-653.00	648.00-651.00	640.00-643.00	935.00- 945.00
Ise Bay*	649.00-652.00	647.00-650.00	639.00-642.00	935.00- 945.00
#Rim Average-Nov	647.50	645.50	638.50	940.00
S. Korea*	661.00-664.00	649.00-661.00	-634.00-637.00-	935.00- 945.00
Taiwan*	+659.00-659.00+		+641.00-659.00+	1,000.00-1,000.00
China*				
Dalian	675.00-678.00	-	-	1,060.00-1,070.00 **
Shanghai	665.00-668.00	-	635.00-638.00	1,050.00-1,060.00 **
Qingdao	675.00-678.00	-	645.00-648.00	1,060.00-1,070.00 **
Hong Kong*	-632.00-635.00--629.00-632.00--619.00-622.00-			930.00- 940.00
Singapore*	-622.00-624.00--620.00-621.00--610.00-613.00--			920.00- 930.00-
Bangkok*	-663.00-665.00-	-	-645.00-647.00-	1,015.00-1,025.00

--Note: \*Delivered, \*\*LDO,

#Rim Tokyo Bay average

**◎ASIA PRODUCTS MARKET COMMENTARY**
**○日本向け輸入試算値(前日比、円/kl)**

91RONガソリン(△14)、ナフサ(△50)、ジェット燃料油(▼34)、灯油(▼101)、硫黄分10ppm軽油(△211)、A重油(△184)、LSA重油(△183)、クラックドLSWR(▼1373)、硫黄分3.5%重油(▼333)、硫黄分0.3%重油(▼823)

**○日本積み輸出試算値(前日比、円/kl)**

ジェット燃料油(▼2)、CARB DIESEL(△213)、硫黄分10ppm軽油(△213)、硫黄分3.5%重油(▼333)

**○GASOLINE:**

北東アジア積み92RONガソリン(MR船型)の市況連動相場は、前日からもち合った。大方の北東アジアの石油会社は、来週から12月積みの商談を本格的に進める方針。ただ、供給過剰の気味が強く、相場の基調は弱含んでいる。北東アジアの石油会社のスポット供給予定量は潤沢な一方で、東南アジア諸国のスポット需要は増大する兆しがみられない。大連西太平洋石油化工(WEPEC)は、12月積みではMR船型3カーゴの輸出を予定している。その内の2カーゴはターム契約向けの供給となり、1カーゴをスポット販売する計画だ。台湾フォルモサ石油化工(FPCC)も、来週にMR船型4カーゴのスポット販売を実施する予定。また、既報のとおり、韓国の石油会社もMR船型6カーゴ前後のスポット輸出余力がありそうだ。

市場関係者によると、ARA地域(アムステルダム、ロッテルダム、アントワープ)の今週のガソリン在庫は59万トンとなった。前週比、前年同期比ともに1万トン減少した。一方米エネルギー情報局(EIA)の統計によると、10月25日までの1週間の米ガソリン在庫は前週比171万3,000バレル減の2億1,379万1,000バレルとなった。前年の同じ時期に比べると1,428万9,000バレル多い。

シンガポール積み92RONガソリンの固定価格相場は111.20~111.30ドルと、前日から35セント上昇した。ナフサ先物価格の値上がりを受けた。11月きりナフサ先物価格は103.20ドルと、前日を45セント上回った。市況連動相場はナフサの先物市況に対し8.00~8.10ドルのプレミアムと、前日から10セント下回った。シンガポール11月16~20日と24日~28日積み、92RONガソリン5万バレル型2カーゴが成約した。価格は111.30ドルと110.85ドル。また、中国石油天然気が11月19~23日積み95RONガソリン5万バレルを販売した。シェルが114.80ドルで購入した。

一方、シンガポールの軽質留分在庫(陸上タンク)は30日時点で約1,045万バレルとなり、前週を40万バレル上回った。

最新の成約は次の通り

- \* 11月16~20日シンガポール積み92RON・5万バレル、ビートル→トラップギュラ 111.30ドル
- \* 11月24~28日シンガポール積み92RON・5万バレル、ユニペック→トタル 110.85ドル
- \* 11月19~23日シンガポール積み95RON・5万バレル、中国石油天然気→シェル 114.80ドル

## ONAPHTHA:

アジアのオープンスペック・ナフサの固定価格は939~948.25ドルと前日から3.5ドル続伸した。アジアの大手石化のスポット買いが相次いでいることが影響した。10月17~31日の間でアジア石化向けに成約された数量は71万トン前後にもなる。また製油所減産やアービトラージカーゴの到着減でアジアのナフサ供給が縮小していることも相場の強材料となっている。

三井化学が10月31日、12月後半・千葉着対象にMR船型のオープンスペックグレードカーゴを購入した。価格はカーゴ到着の30日前の評価で日本市況に対し約11ドルのプレミアムだったと見られている。三井化学の前のスポット買付けは10月24日に行われ、12月前半葉カーゴがカーゴ到着の30日前の評価で日本市況に対し約7.5ドルのプレミアムにより調達されていた。

国営石油会社クウェート石油(KPC)が11月同国出しナフサをスポット販売した。対象は11月16~17日積みライトナフサ3万トンと同17~18日積みフルレンジナフサ5万トン。価格は中東市況に対し約33ドルのプレミアムとなったもよう。KPCの前のスポット販売は9月18日に10月後半積みライトナフサ2万4,000トンを対象に行われ、価格は中東市況に対し27~28ドルのプレミアムだった。アジアのナフサのスポット市況がこの2週間で5カ月ぶりの高値に上昇していることを受け、中東産ナフサのFOB販売価格も切り上がっている。KPCは先月、2013年12月~2014年11月積みナフサのターム契約交渉を妥結した。契約価格は中東市況に対し24.25ドルのプレミアムとなった。アジアのナフサのスポット市況は交渉当時、現在とは異なり1年3カ月ぶりの安値に下落していた。こうした事情から、KPCの最新ターム契約は前期契約から値下げによる妥結となった。前期2013年8月~2014年7月積み価格は31ドルだった。

台湾のフォルモサ石化(FPCC)の第2ナフサクラッカー(エチレン年産103万トン)が10月31日、予定通り再開されたもよう。「操業は現時点で順調に稼働を上げている」(FPCC)という。第2クラッカーは9月中旬から定修のため停止していた。FPCCは10月30日に12月前半・麦寮(マイリャオ)着対象にナフサ合計7~8万トンを購入した。価格はカーゴ到着の30日前の評価で日本市況に対し5.5~7ドルのプレミアムとなったと伝えられている。FPCCのナフサのスポット買付けは約1カ月半ぶりとなった。同社は第2ナフサクラッカー(エチレン年産103万トン)の定修入りを背景に11月着ナフサのスポット買付けを行わなかった。FPCCは通常、半月ごとにナフサをスポットで買い付ける。FPCCは第2ナフサクラッカーのほかに第1ナフサクラッカー(エチレン年産70万トン)、第3ナフサクラッカー(同120万トン)を持つ。第1、第3装置はフル稼働中。

指標となるインターコンチネンタル取引所(ICE)の北海ブレント原油相場はアジア時刻時間で、1月が前日比2セント安の108.95ドルとなった。オープンスペック・ナフサ相場は12月後半着が955.25~955.75ドル、1月前半着が947.75~948.25ドル、1月後半着が939~939.5ドルとなった。アウトライト取引は1月前半着カーゴが946ドル、947ドル、948ドルで成約された。

タイミング・スプレッドの相場は12月後半/1月後半スプレッドが16.25ドルのバックワーデーションとなった。前日比1.25ドル拡大した。ナフサ価格とブレント原油価格とのクラックスプレッドは1月ブレント/1月前半ナフサがトン当たり131ドルのナフサ高となった。前日比12ドルの大幅続伸となった。

北西ヨーロッパ(NWE)のナフサ・スワップ相場はアジア時間で、11月が前日から8.5ドル高の921.5~



923.5ドルに続伸した。12月と1月の価格はそれぞれ911~913ドル、905.5~907.5ドルとなった。アジア/NWEのナフサ・スプレッドは1月前半アジア/12月NWEが36ドルのアジア高となった。前日から4.5ドル拡大した。

市場関係者によると、ARA地域の今週の石油製品在庫はガソリンが前週比1万トン減の59万トン、ナフサが同横ばいの14万トン、ガスオイルが同9万トン減の199万トン、重油が同5万トン増の59万トン、ジェット燃料油が同9万トン増の39万トンと伝えられている。前年の同じ時期に比べるとガソリンが1万トン減、ナフサが8万トン増、ガスオイルが4万トン減、重油が29万トン減、ジェット燃料油が5万トン増となる。

最新の成約は次のとおり。

\*1月前半着カーゴ: グレンコア→ソカール、946ドル、グレンコア→韓国大林産業、946ドル、マバナフト→ソカール、947ドル、シェル→MR1、948ドル

### ○JET/KEROSENE:

北東アジア積みジェット燃料油(MR船型)の市況連動相場は、需給の引き締まり軒並み上昇した。灯油の需要期に差し掛かり、北東アジアの石油会社によるジェット燃料油のスポット輸出余力が低下している。一方、需要はやや増加傾向である。中国航油(CAO)の買い付けに加え、一部日本の元売りと香港の需要家も輸入に乗り出す可能性がある。韓国積みジェット燃料油(MR船型)の市況連動相場は、シンガポール市況に対し20~30セントのプレミアムと、前日から10セント上昇した。CAOは31日、入札を通じて11月下旬~12月積みジェット燃料油を買い付けた。予定数量は計4カーゴだったものの、実際に購入した数量は明らかではない。ただ、トレーダー筋からは、一部の韓国品がFOBで同市況に対し30セント前後のプレミアムで落札された公算が大きいという。

シンガポール積みジェット燃料油の固定価格相場は124.50~124.60ドルと、前日から40セント上昇した。先物価格が値上がりしたうえ、プレミアム上昇が相場を一段と押し上げた。11月きり先物価格は123.80ドルと、前日を20セント上回った。また、市況連動相場は先物市況に対し70~80セントのプレミアムと、前日から20セント上昇した。シェルがシンガポール11月16~20日積みジェット燃料油25万バレルを、シンガポール市況(11月18~22日の平均)に対し75セントのプレミアムで販売した。買い手はガンバー。

最新の成約は次の通り

\*11月16~20日シンガポール積みジェット燃料油・25万バレル、シェル→分バー、スポット市況(11月18~22日の平均)+75セント

### ○GASOIL:

北東アジア積み0.001%S軽油(MR船型)の市況連動相場は、供給の引き締まりを受け軒並み上昇した。北東アジアの石油会社は、12月積みでも0.001%S軽油のスポット輸出予定量は限られている様子だ。11月までの数か月も、製油所の定修またはターム契約者向けの供給増などにより、スポット輸出は極めて少なかった。一方、需要は増加傾向にある。このところ、欧州地域の軽油市況が上昇していることを受け、トレーダー筋がカーゴの調達に動く可能性があるためだ。台湾積み0.001%S軽油(MR船型)の市況連動相場は、シンガポール市況(0.05%S)に対し1.55~1.65ドルのプレミアムと、前日から5セント上昇した。台湾フォルモサ石油化工(FPCC)は1日、入札を通じて12月1~5日積み0.001%S軽油30万バレル型1カーゴを販売した。シンガポールのトレーダーが、FOBで同市況に対し1.65ドル前後のプレミアムで購入したという。FPCCによる0.001%S軽油のスポット販売は、数か月ぶりになる。FPCCは今回の入札で、12月21~25日積みの0.05%S軽油24万バレル型1カーゴも追加で販売した。香港の需要家が、FOBで同市況に対し20セントを小幅上回るプレミアムで購入したようだ。香港では来年から、バンカー用軽油の硫黄分規制を0.5%Sから0.05%Sに切り上げる。一方、韓国では、S-オイルが12月積み0.001%S軽油のスポット販売を予定している。来週に商談に乗り出すようだ。

中国華東着・0.05%S軽油(MR船型)の市況連動相場は、シンガポール市況(0.5%S)に対し2.05~2.15ドルのプレミアムと、前日からもち合った。華東地区の0.035%S軽油の国内価格(一次基地出し)はトンあたり7,700~7,750元と、前日から横ばい。この価格は輸入コストを176元(バレルあたり3.81ドル)下回る。

シンガポール積み0.05%軽油の固定価格相場は124.60~124.70ドルと、前日から65セント上昇した。先物価格の値上がり運動した。11月きり先物価格は124.00ドルと、前日を65セント上回った。市況連動相場は先物市況に対し60~70セントのプレミアムと、前日からもち合った。

一方、シンガポールの中間留分在庫(陸上タンク)は30日時点で約909万バレルとなり、前週を9万バレル上回った。

最新の成約は次の通り

\* 12月1~5日台湾積み0.001%S・30万バレル、FPCC→トレーダー、スポット市況 +1.65ドル

\* 12月21~25日台湾積み0.05%S・24万バレル、FPCC→香港のトレーダー、スポット市況 +0.25ドル

### OLSWR:

インドネシアのクラックドLSWRのFOB固定価格は前日比1.9ドル反落した。原油市況安に反応した。

ただ相場の基調は足元中心に強い。日韓の発電用低硫黄重油の輸入が冬場需要期に近づきつつあることから増えている。一方供給は少なくとも11月までアジア域内産にほぼ限られている。欧米、アフリカからの低硫黄重油(アービトラージカーゴ)はアジアより割高な米国に仕向けられているためだ。結果として、マレーシア、シンガポールなど東南アジアの低硫黄重油の在庫は減少している。低硫黄重油は期近の売り物が限られている。

11月28日~12月9日積みに適用されるプルタミナの価格フォーミュラ(PPF)推定値は前日比1.9ドル安の100.3ドルに反落した。市況連動相場は前日から横ばいとなりPPFに対しフラット~1ドルのプレミアムとなった。1日時点で算出されるインドネシア積みクラックドLSWRの価格は100.75~100.85ドルとなる。

### OFUEL OIL:

日本着0.3%S重油(MR船型)の市況連動相場は、シンガポール市況(180cst)に対し130.00~140.00ドルのプレミアムと、前日からもち合った。需給の引き締めを受け、相場は強含んでいる。日本の元売り1社が、12月前半着カーゴの購入を増やしている。一方、域内では、12月上旬に北東アジア着が可能な供給カーゴが限られているようだ。同元売りはこのところ、前半着カーゴを追加で1カーゴ調達したようだ。これで、前半着の買い付けは3カーゴ目となる。今回の成約価格について、一部の関係者からは「CFRで同市況に対し150.00ドルを超えるプレミアムで推移される」との声も聞かれた。ただ、市場では依然として、140.00ドル以上のプレミアムは高すぎるとの指摘が多い。同元売りは、引き続き12月着の0.3%S重油複数カーゴの調達を検討しているようだ。また、別の元売り1社も12月着の0.3%S重油1~2カーゴ程度を買付けるとみられている。

中国華南着・3.5%S重油(LR船型、シンガポール製)の市況連動相場は、シンガポール市況に対し10.00~11.00ドルのプレミアムと、前日から横ばい。広東省・黄埔地区の重油価格はトンあたり4,400~4,450元と、前日からもち合った。この価格は輸入コストを1,002元(バレルあたり163.04ドル)下回る。一方、上海期貨交易所の12月きり重油価格は3,764元と、前日から195元下落した。

シンガポール積み180cst重油の固定価格相場は618.00~619.00ドルと、前日から9.00ドル大幅下落した。先物価格が値下がりしたうえ、プレミアム下落が相場を一段と下押しした。11月きり先物価格は615.00ドルと、前日を6.50ドル下回った。また、市況連動相場は先物市況に対し3.00~4.00ドルのプレミアムと、前日から2.50ドル下落した。BPがシンガポール11月16~20日積み180cst重油2万トン販売した。ヒンリオンが618.00ドルで購入。

一方、シンガポールの残渣留分在庫(陸上タンク)は30日時点で約1,918万バレルとなり、前週を142万バレル下回った。

最新の成約は次の通り

\* 11月16~20日積みシンガポール積み180cst2万トン、BP→ヒンリオン、618.00ドル

### ◎ASIA BUNKER MARKET COMMENTARY

#### ○JAPAN:

日本の380cst相場は京浜が637~640ドル、西日本が640~643ドルと前日からもち合った。380cst売唱えは京浜が637~643ドル、西日本が640~648ドルが聞かれた。京浜や西日本に380cst500トンや1,000ト

ンなどの引合いが浮上した。取引時間内に原油価格が下げ基調にあったことで、一部売り手は引合いによりさらに価格を落として対応するもよう。ただ、月初で今後の原油価格変動が不透明なため、様子見に徹する売り手も多い。リムのバンカー重油11月月間平均推定値は東京渡し380cstが638.50ドルとなった。これは先月から2.09ドル安となる。

### ○SOUTH KOREA:

韓国の380cst相場は634~637ドルと前日から1ドル反落した。シンガポール重油市況安を受けた。S-オイルは引き続き380cst売唱えを635ドルに保っている。同社はデリバリーが5日以降の引合いから対応可能。現代石油の唱えは前日比1ドル安の637ドル。一方で、GSカルテックスは同2ドル高の640ドルとなった。

### ○SINGAPORE:

シンガポールの380cst相場は610~613ドルと前日から3ドル反落した。シンガポール重油市況安を受けた。デリバードベースの380cst売唱えは現地時間17時30分時点で610~615ドルが聞かれた。ただ、取引時間相に原油価格が軟調に推移したため、さらに価格を落として対応する売り手もいたようだ。トレーダーの販売対象は11月5日積み以降となった。EXワープ380cst相場は614~617ドルと同3ドル安。

### ◎MARKET NEWS

#### ○台湾＝石油各社の製油所平均稼働率は 63.5%

リム調べによると、台湾石油各社の合計の原油処理量は1日時点で日量80万バレルと、先週から変わらず。台湾中油(CPC)の原油処理量は日量33万バレルを維持。3カ所の製油所(高雄、大林、桃園)では、常圧蒸留装置2基(いずれも日量10万バレル)が稼働を停止中。大林製油所(日量30万バレル)で、18日に1基が定修に入った。期間は40日。高雄製油所では、5月下旬から1基が稼働を停止している。同装置は予備設備扱いとなり、緊急時以外は停止。フォルモサ石油化学(FPCC)の原油処理量は日量47万バレル。11月の原油処理量は日量46万バレルを予定している。二次装置が定修に入るため、原油処理量を引き下げる。全社の常圧蒸留装置の実働能力は日量126万バレル。製油所の平均稼働率は実働能力に対し63.5%となった。

日付	台湾中油	フォルモサ石油化学	平均
能力(1,000b/d)	720	540	
稼働率(%)			
11/01/13	45.8	87.0	63.5
10/24/13	45.8	87.0	63.5
10/17/13	45.8	92.6	65.9
10/03/13	45.8	94.4	66.7

#### ○台湾＝フォルモサ石油化学、製油所稼働状況 11月1日

フォルモサ石油化学(FPCC)、麦寮製油所(日量54万バレル)の原油処理量は日量47万バレルを維持。11月の原油処理量は日量46万バレルを予定している。第2残油流動接触分解装置(日量8万4,000バレル)は29日に定修明けし、足元の稼働率は90%。第1残油流動接触分解装置(同8万4,000バレル)の稼働率も90%になっている。また、熱分解装置(日量3万6,000バレル)が1日、定修の作業に入った。停止期間は20日程度。

石化プラントについては、第2ナフサクラッカー(エチレン年産103万トン)は10月31日に定修明けした。第1ナフサクラッカー(同70万トン)と第3ナフサクラッカー(同120万トン)はフル稼働。

#### ○NYMEX天然ガス＝12月限は続落、予想上回る在庫増で 10月31日

31日のNYMEX市場で天然ガス先物は続落。期近の12月限は前日比3.9セント安の3.581ドル/百万Btuで引けた。この日発表された、米天然ガス在庫の増加幅が、予想を上回ったことが要因。米エネルギー情報局(EIA)によると、25日時点の米国の天然ガス在庫は3兆7,790億立方フィートと前週から380億立方フィート増加した。市場関係者は、360億立方フィート前後の増加を見込んでいた。ICEフューチャーズによると、ヘンリーハブ現物市場での翌日渡し相場は前日比1.12セント高の3.5350ドル/百万Btuで引けた。

ICE天然ガスは続落。12月限は70.00ペンス/サームと前日比1.31ペンス安で引けた。現行の1.6061ドル/ポンドの相場を基にすると、ドルベースの百万Btu換算値は11.243ドルと前日から17.3セント安。LNG船の入着が予定されており、国内の需給が緩むとの観測から売りが優勢となった。コンタンゴプレー(期



近玉を船積みして数ヶ月間滞船させ、期先(冬場)の相場上昇で利鞘を稼ぐ手法)の指標となる3月/2月限の相場間格差は26.2セントと前日から43.5セント縮小している。NYMEX12月限との格差は7.661ドル(ICE高)と、前日から34.0セント拡大した。

最新のナショナルグリッドのデータによると、30日の当日渡しの現物相場(SAPシステム平均価格)は、67.89ペンス/サームと前日比1.69ペンス高、ドルベースの百万Btu換算値は10.904ドルと前日比30.6セント高で引けている。

**○シンガポール製油所稼働率=前週から横ばいの89.7%**

RIM調べによると、シンガポールの石油各社平均の製油所稼働率は1日の時点で、89.7%となった。前週と同水準となった。シンガポール石油全社の常圧蒸留装置の能力合計は日量139万5,000バレル。

DATE	シェル	エクソンモービル	SRC	平均稼働率(%)
能力(千b/d)	500	605	290	
13/11/01	86.0	94.0	87.0	89.7
13/10/25	86.0	94.0	87.0	89.7
13/10/18	86.0	94.0	87.0	89.7
13/10/11	86.0	94.0	87.0	89.7



RIMアジア石油製品レポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、法的手段を講じたうえで、罰金を請求します。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報を用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

RIM URL: [www.rim-intelligence.co.jp](http://www.rim-intelligence.co.jp)

—EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo—Tel: (81) 3-3552-2411 Fax: (81) 3-3552-2415 e-mail: [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp) Singapore—Tel (65) 6345-9894 Beijing—Tel (86) 10-8527-1630 Fax (86) 10-6428-1725 Shanghai—Tel (86) 21-5111-3575 Fax (86) 21-5111-3576 India—Tel: (91) 98795-50717

RIM Asia Products Intelligence Daily is a copyrighted publication. No portion of this publication may be photocopied, reproduced, retransmitted, put into a computer system or otherwise redistributed without prior written authorization from RIM INTELLIGENCE CO.